

131 シオヤガイ

(マルスダレガイ科)

兵庫県ランク:A

*Anomalodiscus squamosus*

環境省ランク:NT

種の概要

現在は、三重県英虞湾を東北限とし、和歌山県、淡路島、四国南部、九州に分布。内湾的環境の泥底・砂泥礫底の干潟に生息する。殻長30mm、殻高25mm程度。殻は後端が尖った菱形で厚質、膨らみは強い。殻頂は高く、前縁は丸く、後縁は細く伸び、後腹隅は尖る。殻表は放射肋と成長線が交わり粗い布目状。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。比較的温暖な水温域に分布するといわれており、淡路島中部の内湾に面した干潟の小規模な泥砂底に生息するが、生息範囲は限られ、生貝は極めて少ない。近年、死貝すら見られなくなった。また同地ではユウシオガイ(貝類Aランク)、ヒメシラトリ、オチバガイ(貝類Aランク)、マテガイ(貝類要注目種)、オキシジミ、カガミガイ、オオノガイ(貝類Bランク)、ソトオリガイ、ハザクラ(貝類Aランク)(死貝)、ハナグモリ(貝類Aランク)(死貝)など貴重な二枚貝が非常に狭い範囲で得られている。

保護上の留意点

既知産地の淡路島中部の現存干潟では、本種以外の希少種も生息するので、この環境の保全を心がける。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋



【執筆者】 川渕千尋